

北海道洞爺湖サミット ～原子力平和利用と「3S」～

平成20年7月

外務省軍縮不拡散・科学部



原子力をめぐる国際情勢

エネルギー安全保障
(需要の増大、
原油価格の高騰)

原子力発電の新規導入・拡大を
検討する国の増加(注)

気候変動対策
(原子力発電CO₂排出量
= 石油火力発電の1/34)

(注) 気候変動及び急速なエネルギー需要の増大が大きな課題となっている中、非化石エネルギーであり、かつ発電燃料燃焼過程ではCO₂を排出せず、ライフサイクル全体としてもCO₂排出量の少ない原子力エネルギーに対する関心が高まっており、原子力発電所の新規導入や拡大を検討する国が増加している。

原子力発電利用のために確保すべき3つのS
(「3S」)

核不拡散
Safeguards

原子力安全
Safety

核セキュリティ(核テロ対策)
Security

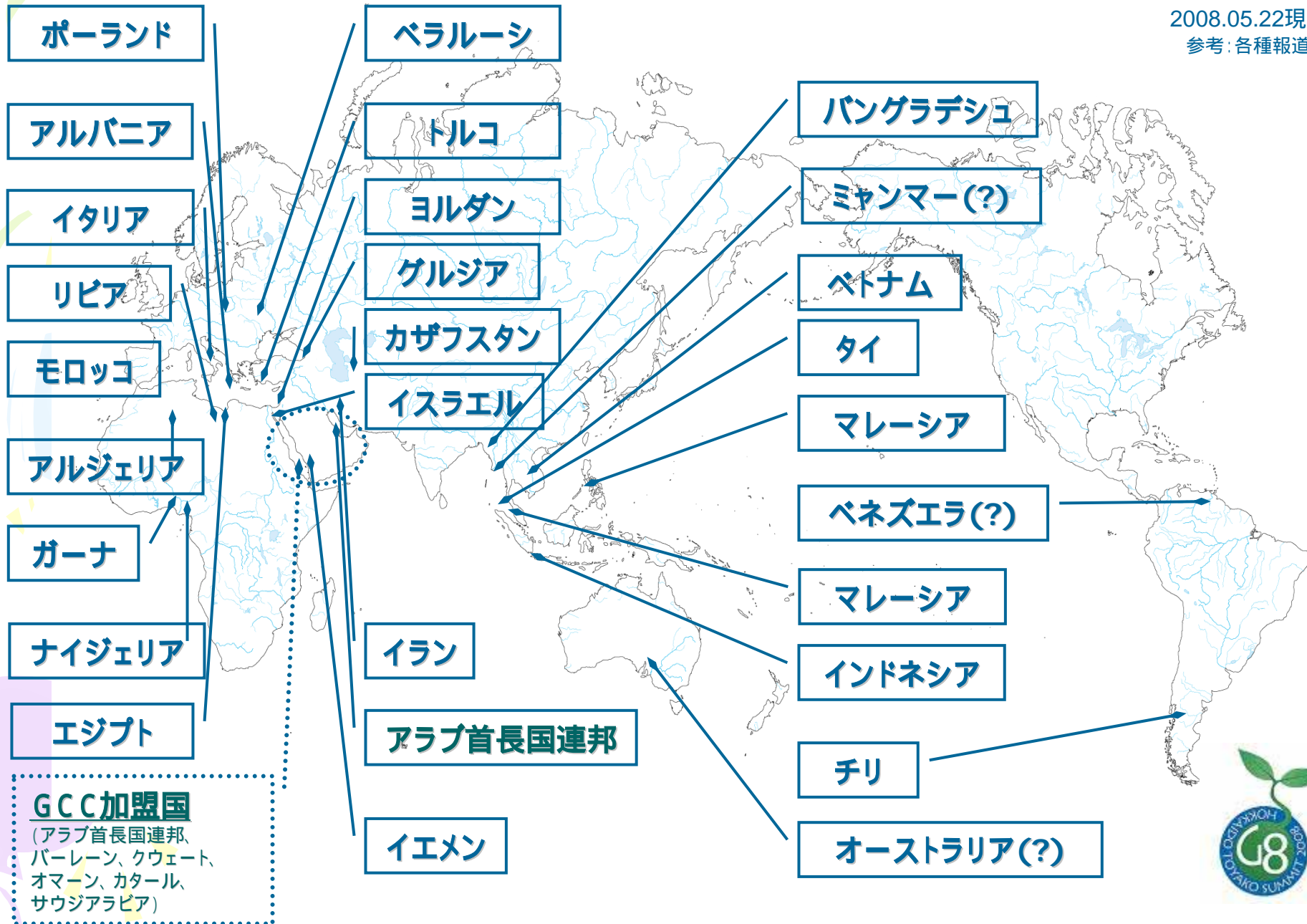
- 原子力発電の利用
- 「3S」の確保

これらを全世界的に両立させることが課題



原子力発電の新規導入を企図する国及び地域

2008.05.22現在
参考: 各種報道等

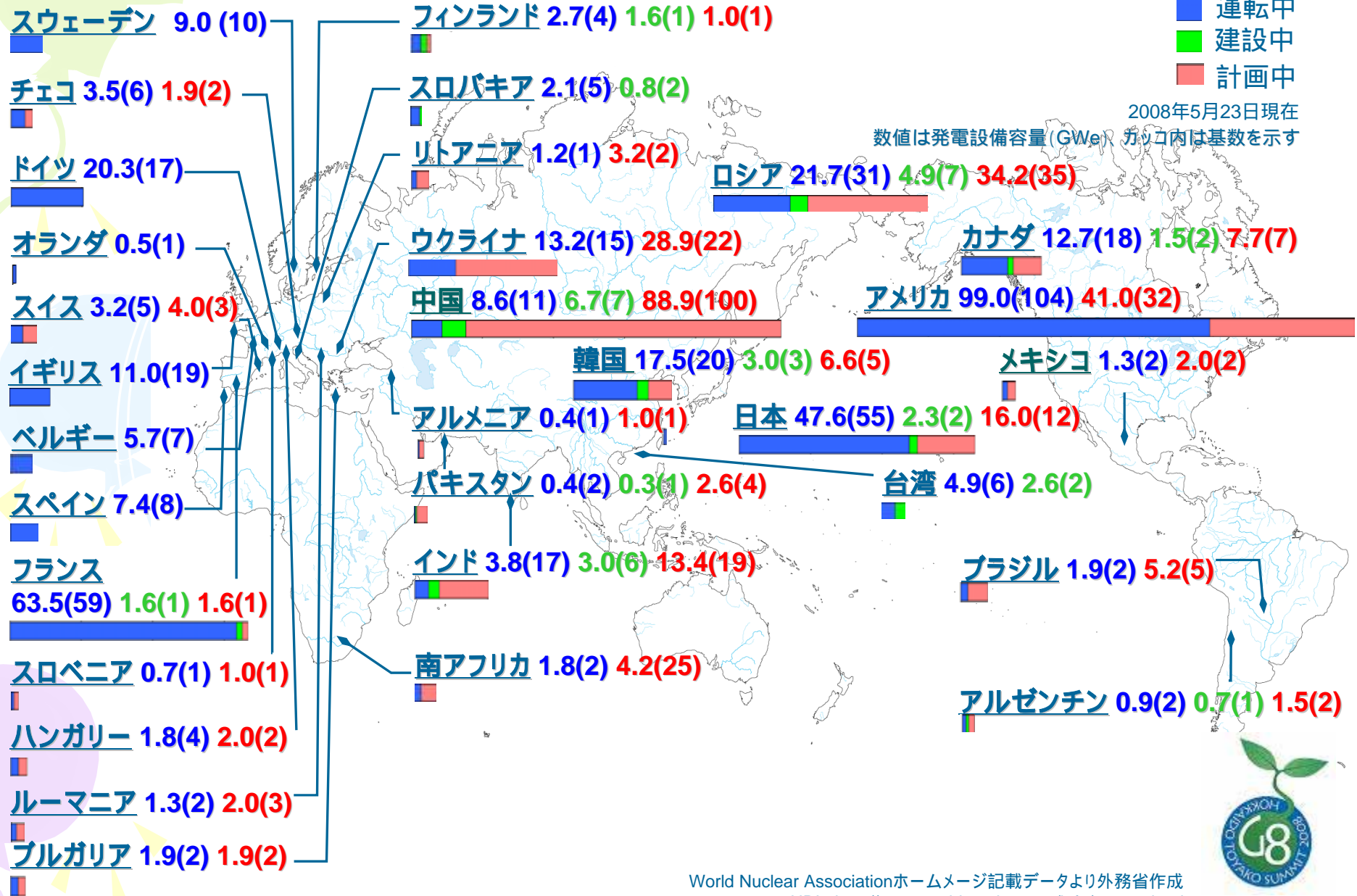


原子力発電の拡大を企図する国及び地域

■ 運転中
■ 建設中
■ 計画中

2008年5月23日現在

数値は発電設備容量 (GWe) カッコ内は基数を示す



北海道洞爺湖サミットで目指す成果

- 原子力利用において「3S」を確保することが重要であることを打ち出すと共に、「3S」の重要性を共通の認識にする必要性があることを確認する。
- 「3S」を確保する責任は原子力に関心を有する国が負うことを認識しつつ、この分野における国際協力が有益であることを確認する。
- このような国際協力の推進にあたって、G8が積極的な役割を果たすべきであることを確認する。
- 世界的に「3S」の重要性の認識を高め、国際協力を通じて原子力導入国に対して「3S」などの基盤整備の支援を目的とした協力を行っていく。





我が国の支援実績

1. 核不拡散 / 保障措置

ベトナムにおいてIAEA追加議定書セミナーを開催(2007年8月)した他、アジア不拡散協議(ASTOP)を主催し、アジア・太平洋地域における追加議定書に関するIAEAの技術会合等に参加。

2. 原子力安全

原子力発電所の運転経験の共有や安全規制能力向上を目的とする「アジア原子力安全ネットワーク」の構築活動を行っている(14か国が参加)他、アジア諸国を対象とした二国間人材育成事業を実施。

3. 核セキュリティ

カザフスタンに技術協力・機材供与を行っている他、アジア諸国における核セキュリティ強化のための国際会議の主催、テロ防止関連条約締結促進セミナーによる支援等を実施。

